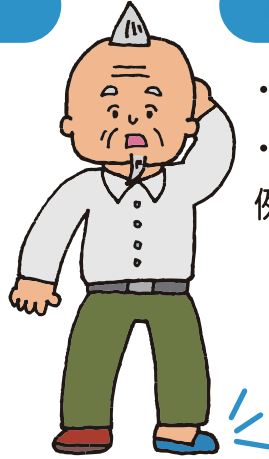


認知症と老化による「もの忘れ」の違い

認知症

- ・ 体験そのものを忘れる
- ・ 日常生活への支障がある

例：朝ごはんを
食べたことを忘れている



老化による「もの忘れ」

- ・ 体験の一部を忘れる
- ・ 日常生活への支障はない

例：朝ごはんを食べたものを
忘れている
(※朝ごはんを食べたことは覚えている)



コラム

1. 「若年性認知症」とは？

若年性認知症とは、65歳未満で発症する認知症のことです。家計を支える働き盛りの世代に起こるため、退職することになったり、介護が長期になったりすることが多く、本人や家族にとって、経済的にも精神的にも負担が大きくなります。原因としては、血管性認知症が多いと言われており、予防と早期発見が大切です。

2. アルコールや薬との関係

アルコール依存症の患者さんでは認知機能が低下していることが多く、長年にわたる大量飲酒と栄養障害によって起こる脳の萎縮、脳血管障害などが関係すると考えられています。断酒と適切な治療により、症状が改善することもあります。また、治療のために出された薬によって、認知機能の低下を引き起こすことがあります。薬を飲んでいつもと違うと感じたら、早めにかかりつけ医や薬剤師に相談しましょう。高齢者の場合、周りの方が注意して経過を見てあげることも必要です。

「あれ？認知症かな？」

